

# 東員町観光協会に関する提言書

平成 2 4 年 9 月

東員町行財政検討委員会

## 観光協会の現状

### (Ⅰ) 観光協会の事業について

#### A. 委託事業（町から）

現在 5 つの事業（子供マスつかみ大会、コスモスまつり、流鏝馬道中ポニー広場、イルミネーション点灯）を行っているが、委託料の範囲で実施されている。

#### B. 単独事業

##### ・大社祭の参加

売店（大社餅と提携して行っている）、祭フォトコンテスト  
ポニー乗馬体験

##### ・夏休み子供陶芸教室

##### ・朝市参加

月 2 回（第一、第三日曜日）

単独事業を行っているが、当日の人件費等で収益は出ていない。

### (Ⅱ) 観光協会の会費について

賛助会員（企業、団体主体…28名）と特別会員（個人…46名）により構成されているが、会員総数が 74 名と少ない（発足当時は 600 名以上あり）

⑨観光協会規約上は規約第 5 条には正会員、賛助会員、名誉会員の三種類とされているが、特別会員の規約はない  
特別会員の位置付けはどうなっているのか…慶弔規程より

### (Ⅲ) 補助金事業について

町からの補助金は会計の人件費として使用されている。

## 観光協会への検討事項（協会の考え方）…委員の質問による

### （Ⅰ）観光事業について

- 内容のある事業、利益が出る事業、東員町に1人でも多くの方に来て頂ける事業に取り組んでいきたい。
- 馬に関する事業、中部公園での春秋の年2回のポニー乗馬と秋のコスモス祭を商工会と連携を図って取り組んでいきたい。
- 東員町をPRして、各種団体の協力を得て役員一丸となって事業拡大を図っていきたい。
- イルミネーションについては、スポンサーを付けるような事業としたい。
- 500名程度来ていただいているマス掴み大会に力を入れたい。

### （Ⅱ）会員の増強について

- 発足当時は自治会の協力を得て、一口500円にて募集しており町民の多くの方に入会いただいた。現状一口3,000円の特別会員と一口10,000円の賛助会員に変わり激減しそのまま現在に至る。
- 一口500円の個人会員を募集し加入促進を図りたい。

### （Ⅲ）補助金事業について

- 現状120万円の補助金が60万円に減額となる（24年度以降）
- 中部公園の管理を現在のシルバー人材センターから観光協会が管理に変更…町建設産業課長談  
それにより管理料が委託料として入りかつ売店等の自主運営も行えると同時に、コスモス畑や流鏝馬も町から委託という形から24年度は補助金の形となる。

## 観光協会への評価

### (Ⅰ) 必要性

町内における観光事業の振興、地域の活性化及び文化の向上のため、行政とタイアップして新たな観光事業の発掘が必要である。

### (Ⅱ) 有効性

経済の振興に寄与すべく自主的な活動の活発化が望まれる。

### (Ⅲ) 達成度…やや不満足（町の評価は普通）

町の委託事業及び自主事業を実施していますが、委託金や会費収入のみでの運営は困難な状況である。

### (Ⅳ) 効率性

今の段階で効率性を判断することが困難である。  
民間活動の自主支援を図ることが重要である。

## 観光協会への提言

- ◆ 町の支援の方向の変化による期待はあるが、新しい環境での戦略的な取り組みが求められる
- ◆ 現状打破に対する危機感が薄れている感じがする。
- ◆ 会員増強に対する具体的な方針を打ち出し、年度ごとの会員数の目標を定め、それに対応する行動力を要望する。  
⑨会員一人当たりの会費は最低 1,000 円ではとの要望あり。
- ◆ 町の特産品作りなど商工会との連携があれば効果的にできることがあるのではないか。
- ◆ 観光イベントの企画と町民と協働した運営は観光協会が中心となり町との役割分担と再整調して効果的に連携することが必要である。
- ◆ 補助金を受けて事業をしているという責任感を持ち、将来の観光振興についてビジョンや計画などの展望を示していただきたい。

## 町への提言

- ◆ 町は、観光協会からの収支や事業の報告を求め、補助金の使途などについて適切な指導及び監査を行うよう望む。
- ◆ 観光振興については、町と観光協会及び商工会が連携を取り、町の活性化が図られるような事業展開を望むところである。しかし、現状では観光協会と商工会が連携されているように見受けられない。商工会の中に観光部が存在するくらいの気概で実施していただきたいとの意見があった。

## まとめ

中部公園の管理棟への観光協会本部の移転と、これまでのシルバー人材センターへの委託が観光協会への委託に変わることにより、自主的な運営が可能となり補助金の半額カット分を十分カバー出来るものとする。

また、イルミネーションのスポンサー化による事業拡大、コスモスまつりの定着化により、人が集うまちづくり、賑わうまちづくりに寄与できるものとする。

以上のことが達成されるためにも、観光協会は、運営面で自立できるよう自主努力を継続的に行い、計画立案とその計画に対する行動力を発揮されることを望むものである。